



「仏陀」と花見に行きましょ〜

—— お寺と地域を結びつける中間領域となる。

お寺の庭を活用したコミュニティの実現へ。

お寺の庭で花見

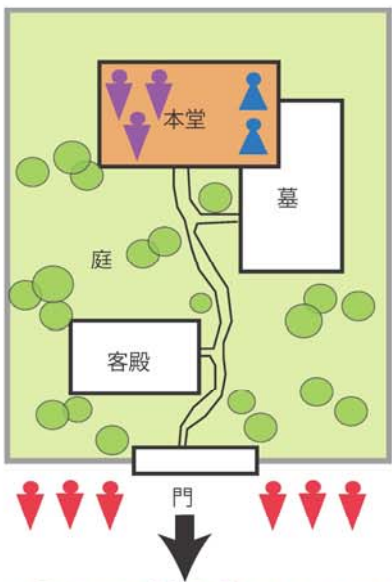


修行



お寺の現状：

仏法の講義や説教を行い、僧と信者が集まる本堂がある。庭を持ち、四季を感じ、禅の世界が凝縮されている。門が閉ざしている場合が一般的である。



改善方法：



方法一：壁の代わりに木や植物を。



方法二：庭に椅子やベンチを置く。



方法三：修行などの活動を室内から庭に移動する。



お寺で、四季を楽しみながら、仏教の文化と学ぶ。

改善後：

近所の人々の視線を通し、お寺に入りやすくする。お坊さんが自然の中で修行し、「一花に世界があり、一葉に如来がある」の悟りの境地に達する。市民により、お寺の庭を地域の公園として利用し、散歩や花見の際、禅の知識が得られる。

修行体験：



座禅



写経



今後：

お寺の庭は、お坊さんと市民の出会い場になる。自然の中で、市民がレクリエーションすると同時に、修行体験もできる。お坊さんにとっては、修行する際に、仏法を市民へ広げる。地域で、人と人の接する機会が増え、信仰を持ち、豊かな生活ができ、コミュニティの実現が可能になる。